

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

令和3年11月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		利用児童の成長と共に身体を動かす遊びに制限が出てきている。怪我の無いように配慮していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用児童に対して職員の目が行き届く人数を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関の段差を無くし、トイレの手すりの設置を行う等配慮を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		広く参画しているとは言い難い為、改善の必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者向け自己評価表に対して改善が必要な部分は話し合い改善していく。コロナの影響により実施が難しいところは今後につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果や改善の内容はホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていないが、業務改善の為今後実施していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		積極的に研修の機会を作っているが、常勤職員が受ける事が多い為、非常勤職員にも受けられる様機会を設けていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントに基づいた計画作成を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			起案は複数の職員で検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムの評価を行い改善している。積極的に新しいプログラムも取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		時間設定での療育を行っている為、休日や長期休暇の対応はしていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童の課題に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成している。

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		時間を作って打合せの時間を設けているが、まだ不十分と考える。各職員で出勤時間に違いがある為、話し合いの機会をより増やしていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		利用後の送迎がある為、支援サービス提供時間後の振り返りは困難な為、月に1、2度スタッフ会議を行い支援の振り返り、改善に繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録は一人だけで無く、関わった職員が気付いた事等を記入する様心がけている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		モニタリングが十分に行われているとは言えない為、改善していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管だけでなく、必要であればその児童の状況に詳しい者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて送迎時に学校担任教諭との情報交換を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要な児童はいないが、アレルギーのある児童がいる為、病院や主治医を確認している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保育園や幼稚園との情報交換は必要に応じて実施している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		移行支援を行う児童がいらないが、必要であれば連携をとっていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センター開催の研修はオンライン上にて受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナの影響により実施出来ていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		コロナの影響により実施出来ていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や必要に応じて電話を行い共通理解をもって関わっている。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレント・トレーニングという形態はとっていないが、電話や送迎時に保育士・言語聴覚士から助言ができる体制をとっている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に不明なところが無い様に丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて電話での相談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナの影響により実施出来ていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応体制を整備し、保護者へ周知している。保護者からの苦情に対しては速やかな状況説明と改善方法を伝えるよう心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月おたよりを発行している他、ホームページ上には毎日の様子をブログで紹介している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			十分に注意を払って管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時の他、連絡ノートを用意し情報伝達の方法の一つとしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナの影響により実施出来ていない。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を実施している。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		管理者は毎年研修を受けているが、内部研修という形では行えていないので実施していきたい。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在まで身体拘束を行った事は無いが、やむを得ず行う場合は適正な手続きを踏み、進めていく。
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		利用開始時に保護者からの聞き取りを元に対応している。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告は回覧し、会議内で話し合っている。